



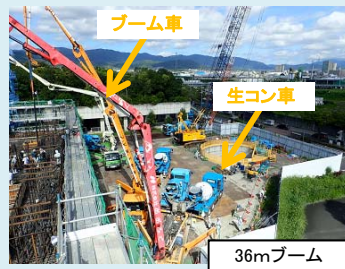
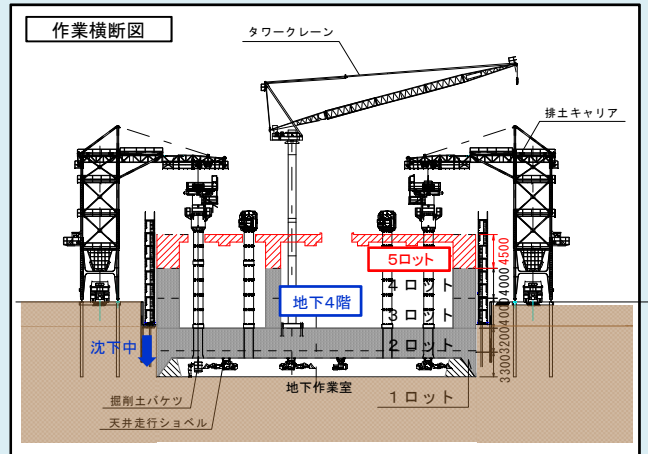
いろは呑龍新聞

2019年(令和元年)9月号
第45号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

5ロット目コンクリート打設

9月5日、6日に5ロット目のコンクリート打設を行いました。
 3～4ロットは柱と壁部分でしたが、5ロット目は地下4階の天井部分であり、打設面積は約1,480m²もあります。
 この天井全体を打ち継目なく施工するため、6日のコンクリート打設量は1日で過去最大の2,600m³にもなりました。
 コンクリートは5箇所の生コンプラントから供給を行い、ポンプ車6台と高い位置にコンクリートを送る36mブームを使用し、総作業員数約170名の大規模打設となりました。
 日中気温は35℃と残暑の厳しい中での大変な作業となりましたが、作業員の熱中症にも注意し、無事に完了することができました。



沈下掘削進行中

地下の作業室における昼夜の掘削作業によって、順調にポンプ場の躯体は沈下しています。
 (平均20cm/日)

9月17日時点で、施工基面からの総沈下長37.6mの内、11.6mまで沈下しました。(約30%)

沈下は深度が深くなる程、建物を沈めるために、より大きな重量が必要となり、掘削→コンクリート打設→掘削・・・と地上と地下の2つの作業を効率的に進めることが重要となります。

5ロットのコンクリート打設により、6,500tもの重量が上乘せされたため、掘削による沈下の促進が期待されます。

地上で本体を造る作業と地下の掘削作業の両方が進まないで沈下しないんだ。

